

平成30年度地方創生推進交付金事業
「もっとはらこめし ずっとはらこめし 推進事業」について

1. 事業目的

(1)地産地消・郷土愛の醸成

町内の小学生によるサケの稚魚放流から始まり、荒浜漁港での水揚げ、各家庭及び店舗において消費するという地産地消の拡大を図るとともに、町民が「はらこめし」の魅力を再認識・再発見できるようにする。また、「はらこめし」発祥の地として姑から嫁、母から子へ世代を超えた「はらこめし」という食文化の伝承による郷土愛の醸成を図る。

(2)知名度向上

本町における観光コンテンツの調査結果から、「はらこめし」を食したことがあるとの回答者が58.8%と半数を占め、満足度も高い結果であったが、本町を訪れたことがある回数は、5回～2回と回答した者が多く、リピーターの増加にまでは至っていない。このことから、「宮城県亘理町＝はらこめし」としての知名度向上を図り、リピーターの増加を繋げる。

(3)ブランド力向上

秋には、各店舗に「はらこめし」を求めて来る客で列をなしているが、店舗のブランド力の差により、「はらこめし」提供食数等に偏りがあるのが現状である。また、店舗のブランド力の向上なくして地域の活性化が図られないことから、各関係団体と協力し、「はらこめし」のイベントを開催し、出店によるPRを通じて店舗のブランド力向上を図る。

2. 財源

地方版総合戦略に定められた自主的・主体的で先導的な事業を記載して作成した地域再生計画に基づく事業の実施に要する経費に充てるため、国が交付する地方創生推進交付金を活用する。

平成30年度 総事業費 10,720,000円
(うち交付金額 5,360,000円 ※補助率50%)

3. 平成30年度事業詳細

(1)「はらこめし発祥の地」のブランド化、PR (予算額：委託料 1,750,000円)

①PR動画制作

「宮城県亘理町＝はらこめし」の認知及び「はらこめし」のブランド力の向上のため、PR動画を制作し、全国に向けて公開する。

②ハイウェイウォーカーへの広告掲載 (予算額：委託料 1,620,000円)

平成30年10月20日発行のハイウェイウォーカー東日本版11月号において、旬であるはらこめしを中心とした特集記事を掲載し、PRを図る。

③よい仕事おこしフェア (予算額：委託料 200,000円)

平成30年9月19、20日に東京国際フォーラムで開催される「2018“よい仕事おこし”フェア」にて、はらこめしの販売を主としたPR活動を行う。

(2)「はらこめしクーポン券」実施によるリピーターの増加 (予算額：報償費 500,000円)

平成29年度に行った「はらこめしクーポン券」の配布を今年度も同様に行う。本事業は、はらこめし目的の来客数が減る10月中旬以降も来客を維持するために行うものである。500円引クーポン券を町が主催または参加するイベントで配布し、はらこめしを販売している町内の飲食店で利用期間内に使用できるようにする。

【参考】平成29年度実績

店舗数：23店舗 利用期間：10月14日～11月30日

配布枚数：6,553枚 利用枚数：957枚 利用率：14.6% 精算額：478,500円

※平成29年度は交付金を充当していないが、平成30年度は充当する。

(3)イベント集客広報活動費 (予算額：委託料 2,500,000円)

平成29年度に行った「AIR JAM Friday 公開生放送」を今年度も同様に行う。本事業は、町の重要な観光資源である郷土料理「はらこめし」を重要なターゲットである県内在住者へ周知し、「宮城県亘理町＝はらこめし」の認知度及び「はらこめし」のブランド力の向上を図り、観光誘客及び賑わい創出につなげるために行うものである。 ※放送予定日：平成30年10月5日(金)

(4)ビッグデータによる分析 (予算額：委託料 4,000,000円)

より効率的なPR活動を展開していくため、重要なターゲットのモデル(ペルソナ)を導き出し、ピンポイントのPR活動を展開していくため、ビッグデータを用いる分析を行う。

(5)地産地消、郷土愛醸成推進 料理教室 (予算額：需要費 150,000円)

料理教室を実施し、「はらこめし」の魅力の再認識・再発見、食文化の伝承による郷土愛の醸成を図るとともに、レシピを習得させ各家庭におけるサケの消費拡大、地産地消の推進を図る。